

冬だから東丹沢の尾根歩き

高取山～仏果山

実施日 2013年2月11日(祝・月)
 天候 晴れ
 リーダー 涌井 良明
 参加者 涌井良明、島本陳重、石附智江、
 渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙
 策、中村友子、伊藤久雄、石原
 勝正、宇野輝代、小名秀鋭、石
 附智子、佐藤政司 計13名
 費用 本厚木駅⇒撚糸組合前 550円
 半僧坊前BS⇒本厚木駅 550円
 タイム 本厚木駅(8:50バス)撚糸組合前(9:
 30~9:36)高取山登山口(10:05~10:
 10)高取山(11:23~12:10昼食)仏果
 山(12:55~13:05)秋葉山(13:20)
 革籠石山(13:40)土山峠分岐(13:5
 5~13:58)半原越(14:15~14:25)経ケ
 岳(14:50~15:00)半僧坊前(15:59)

スキーツアー中止に伴って急遽設定した計画だったが、いつもの顔ぶれではあるが、10名以上の参加に集まってもらい感謝しています。

3連休最終日だからか？登山者は我々だけだったバスを撚糸組合前で降りる。



直ぐ前の半原神社脇の川に沿って歩き始める。あちこちにホテルの里と書かれている、6月位になるとこの辺りの川辺ではホタルの舞が見られるのだろうか？

国道の高架を抜けて川沿いに山に向かって緩く登ると宮ヶ瀬ダムへの高架道の下、車両止めの柵の少し先で高取山入口の導標を見る。直ぐに小沢を渡り斜面に取り付き一登りして尾根に取り付く。

林道を横切り高度を上げるが前方に見える疎林の斜面は雪面となっていて、少しづつ雪を見ることができるようになり高取山から北側に派生している尾根に乗る。



この辺りから雪の斜面の登りになるがノーアイゼンのまま登り切り高取山に出る。やたら高い無粋な展望台が設置され

た山頂は風が少し寒く感じる、元気づけもあってここで昼食にした。

この先の雪の付具合は微妙な感じだが取り敢えずアイゼンの装着をして、長い後行程に備えた。

仏果山に向けて尾根を進むが稜線上の雪は殆ど消えかけており結果ノーアイゼンでも歩けたが、アイゼンの泥道ミックスの歩行トレーニングとなったが、そこはそれ、安全を考慮の結果なのでご了承を。アイゼンは仏果山手前で外した。宮ヶ瀬越の分岐を過ぎ三角形の仏果山が近づいてくる、右からの尾根と交差すると、ここも無粋な展望台のおっ立つ仏果山頂だ。鎮座する仏像と写真に納まって後半の尾根に向かう。



直ぐに小規模キレットに瘦せた尾根の下りになる、ごく短いナイフリッジの通過や岩の混じった小さな登降で小ピークの秋葉山に出る。この

先からは道も少し広くなり単調な歩きで革籠石山を過ぎて土山峠分岐になる。土山峠BSへ下山路が分かれるエスケープ点だ。更にリッチランドへの坂尻分岐を過ぎ、急な階段を下って半原越えの林道へ、一息入れてラストピーク経ケ岳への登りだ、階段がつけられた急な道を登り、丹沢の山並展望台で小休止して80mの標高差を稼いで経ケ岳山頂へ。静かな頂なのだがハム氏(JL1GWG)がCQコンテストの真っ最中で…ン！尤も富士山頂からのCQで怒られた前科を持つ身としては文句も言えません。因みに当方は(JL1HFY)です。

さて、後は下り、と、いきなり雪の着いた斜面の下りだったが、軟雪部分を下ってOK、その先は思ったより歩き易い下りをゲンキに歩いてバスと同着で半僧坊前にバスを待たせて駆け乗り、本厚木ではお決まりの反省会も出来て、たっぷり歩けた冬限定地域の丹沢でした。



(記&写真・涌井 良明)

(写真提供・伊藤 久雄)